



BIGBOSSこと新庄剛志監督と初対面しました。応援の気持ちを込めて道産品をお届け。大学の先輩にあたる稻葉篤紀GMとも久しぶりに親交を温めました。がんばれ、北海道日本ハムファイターズ！



ガーデンフェスタ北海道2022

第39回全国都市緑化北海道フェアが、道内では36年ぶりの開催となりました。鈴木知事が開会式に参加したときの様子は、こちらからご覧いただけます→



ボランティアスタッフの皆さまや地域にもご協力いただき、約1カ月で30万人の来場者を達成しました。



中心行事である全国都市緑化祭では、佳子内親王殿下のご臨席を賜りました。お手植えされたエゾヤマザクラの開花が楽しみです。



ちょっと寄り道 お食事処「ばれん」であったかご飯

同店は北海道庁の清掃業務を担当する北海道母子寡婦福祉連合会が運営しています。庁舎をいつもきれいに気持ちよく過ごさせていただいていることへの感謝を伝えるとともに、知事自身もひとり親家庭で育った経験から「ひとり親家庭の皆さんのが相談できる場は大切ですね」とスタッフの皆さんとお話ししていました。



道母連が運営するお店は新千歳空港にもあります。出発ロビーにある「カフェテラスBOREN」は、ソフトクリームが人気で、鈴木知事が出張の際に応援を兼ねていつも立ち寄るスポットです。

日頃より当会の活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

皆さまのご尽力のおかげで、鈴木知事は任期最終年度を迎えることとなりました。現在、北海道のポテンシャルを最大限に生かす「ゼロカーボン北海道」などの新たな課題に日本の先陣を切って挑む鈴木知事を、今後も精一杯応援してまいります。皆さまにおかれましても、なお一層の応援をよろしくお願い申し上げます。

活力あふれる北海道の未来を実現する会
似鳥 昭雄会長



毎日更新、
140文字で
いち早く情報を
お届けします



鈴木知事の
活動をじっくり
読みたい方は
こちらを！



北海道大好きな
鈴木知事の
日常を写真で
掲載しています



鈴木直道レポート 6号
〒060-0032
札幌市中央区北2条東1丁目2-10
TEL.011-209-7070 FAX.011-209-7080
令和4年9月発行

鈴木直道 Report Vol.6

2022
AUTUMN



価格高騰等緊急対策に857億円を計上

長期に及ぶ感染症に加え、ウクライナ問題、急激な円安などによる物価高騰が道内経済へ与える影響を鑑み、コロナ禍における価格高騰等緊急経済対策費(総額857億7000万円)を策定しました。鈴木知事が地域の声を政策に反映させ、道民の皆さまの暮らしと経済をしっかりと支えます。

◎緊急対策の内訳

エネルギー・原材料・食料等安定供給対策

82.9億円

厳しい経営環境にある中小企業への支援

725.7億円

物価高騰等に直面する生活困窮者などへの支援 49.1億円

[活力あふれる北海道の未来を実現する会会報]
鈴木直道レポート 6号

地域との強固なスクラムで
活力あふれる
北海道へ。

ごあいさつ

こんにちは、鈴木直道です。

ようやく感染対策を実施しながら皆さまにお会いすることや、地域への訪問が可能となりました。任期1年目よりコロナ禍のなか、リモートなどで地域との関わりを大切にしてきた中で、ようやく会えたときのうれしさはひとしおです。

任期最終年度、引き続き道民の暮らしや経済を守るために、緊急経済対策にしっかりと取り組むとともに、今後のポストコロナ社会の到来を見据え、本道の強みを活かしたゼロカーボン北海道の実現やデジタル技術の活用による地域課題の解決を推進してまいります。皆さんと一緒に活力あふれる北海道を実現するため、今後ともお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

プロフィール

1981年生まれ。埼玉県出身(本籍は夕張市)。東京都庁入庁後、働きながら法政大学法学部を卒業。2008年夕張市に職員派遣される。東京都庁を退職し、2011年夕張市長に当選。2期8年務める。2019年北海道知事に当選

留萌

>>>子育て支援

幅広い年代の子どもが楽しめる遊具を備えた屋内交流・遊戯施設「ちやいるも」を訪問しました。「道の駅るもい」内にあり、天候に関係なく多くの人が集まることができます。親世代の交流や域外からの誘客効果が期待されています。



子育て支援 > 5万円+1万円(道独自)

物価高騰により経済的に影響が大きい低所得の子育て世帯に給付金を支給

夕張 時代に計画した子育て施設へ

夕張市長時代に建設を計画し、昨年オーブンした「ゆうばり丘の上こども園」を訪れました。幼稚園と保育所機能を兼ね備えた施設で、子ども一人ひとりが笑顔を絶やさず、育っていくことを期待しています。

物価高騰支援 > 3.2億円

給食費の保護者負担軽減に向けた原材料等の経費支援



根室

>>>北方領土

新型コロナウイルス感染症、さらにはロシアのウクライナ侵攻の影響により、四島交流等事業の実現が当面見通すことができない状況の中、岸田総理に「せめて四島の近くで慰靈したい」との切実な元島民の思いに応えることを強く求め、初となる洋上慰靈が実施されました。

7月23日に第1回目の歓舞群島コースに乗船し、道民を代表して、追悼の辞を述べるとともに、全国から集まった元島民の方々と言葉をかわし、北方領土問題解決に向け全力で取り組んでいくことを誓いました。



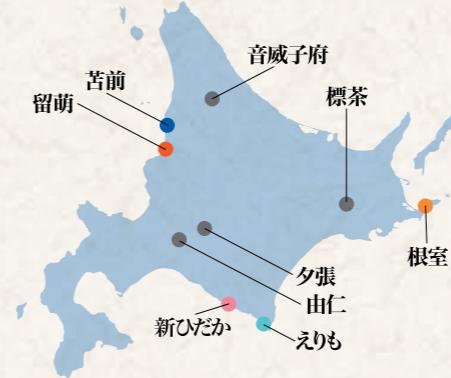
苦前

>>>自然エネルギー

自然エネルギーにより二酸化炭素削減に貢献している「夕陽ヶ丘風力発電所」を訪問しました。今夏は首都圏などで電力不足が懸念されましたが、北海道では電力需要を供給が上回り、今後も洋上風力発電など自然エネルギーの増加が見込まれています。再生可能エネルギーのさらなる有効活用に向けて、北海道と本州をつなぐ海底送電ケーブルの建設計画も進められています。

緊急時に本州と北海道の間でお互いに電力を融通可能にします

再生可能エネルギーを活用する企業の立地が国内外から進みます



えりも

>>>赤潮対策

主要魚種の不漁、コロナ禍による消費低迷に加え、昨年9月に発生した赤潮被害により、水産業を取り巻く環境はかつてないほどの厳しい状況が続いています。現場を訪問し、えりも漁協関係者の皆さまからご意見を伺いました。

令和3年度補正予算

北海道赤潮対策緊急支援事業費として15億円を措置

省エネ設備の導入支援

漁業協同組合省エネルギー化推進事業費に1.7億円を措置



新ひだか

>>>教育振興

商店街のシャッターに絵を描き、地域の活性化を図る取り組みで「北海道知事賞」に輝いた新ひだか町の静内高校を訪問。学生たちの間で人気のポーズも教えてもらいました。



音威子府

おといねっぷ美術工芸高校は専門性の高い授業が人気で、道外から入学者も多い



標茶

標茶高校では生徒の興味・関心に合わせた70以上の講義を展開

由仁

ご存知ですか?
「由栗いも」



道では、北海道の新たな特産品となりうる作物を「戦略作物」として、産地拡大を推進しています。その一つが、由仁町の若手農業者が生産・販売するさつまいも「由栗いも」。こうした取り組みを道内各地で加速させ、食の魅力をさらに発信していきます!



インスタで食レポ、おいしさも発信

農産物への価格高騰対策 > 20.1億円

道内農家の肥料代負担軽減のため農業者に対し、肥料購入支援金を給付

子どもたちの未来へ

鈴木知事が都道府県で3番目となる「ケアラー支援条例」制定

こころやからだに不調のある家族の介護や援助を無償で行う「ケアラー」。特に18歳未満の「ヤングケアラー」は、本人に自覚がなかったり、支援が必要でも表面化しづらく孤立化してしまったりする傾向にあります。子どもたちの成長や学びのために、地域での理解を深めサポートにつなげる取り組みが始まりました。

北海道ヤングケアラー相談サポートセンター
0120-516-086

